

### Ⅲ. 周辺業務（その他）

中項目	No	小項目
1. 用品管理	(1)	施設の用品の管理（福祉用具の手入れも含む）ができる

# 1. 周辺業務（その他）

## （1）施設の用品の管理（福祉用具の手入れも含む）ができる

「施設の用品（福祉用具を含む）や、利用者個人の用品のあるべき場所を把握した上で、適切な場所に戻ることができるか確認する」

### <チェック項目>

- 施設の用品（福祉用具を除く）及びその他の個人の用品をあるべき場所に置いているか
- 福祉用具（例えば、義肢や装具、杖、歩行器、車いす等）をあるべき場所に置いているか
- お知らせ等掲示物の管理等が適切にできているか

### <チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
施設の用品（福祉用具を除く）及びその他の個人の用品をあるべき場所に置いているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の用品（福祉用具を除く、備品・消耗品等）をしまう場所を把握している。</li> <li>・個人の用品をしまう場所を把握している。</li> </ul>

#### （解説）

- ・ここでの施設の用品とは、介護を提供する際に提供者が用いる備品や消耗品等を指します。
- ・介護は、様々な環境で提供されます。介護が必要な人の自宅で行われることもあれば、介護が必要な人が集まる施設で行われることもあります。このため、生活行為を支える介護の提供に際して、利用者の私物と介護を提供する際に用意した私物以外のものを把握し、管理することが必要です。
- ・また、介護を提供する際に必要な物品（たとえば、おむつ、トイレットペーパー、タオル等）が不足していると、介護行為をすぐに開始できず利用者を待たせてしまうことがあります。物品に不足がないか日々確認することも大切な仕事です。

チェック項目	確認ポイント
福祉用具（例えば、義肢や装具、杖、歩行器、車いす等）をあるべき場所に置いているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らが働く環境に備え付けられている、あるいは個人が所有する福祉用具の種類と用途を把握している。</li> <li>・福祉用具の利用が終わった後、しまう場所を把握している。</li> <li>・福祉用具の利用が終わった後、放置していない。</li> <li>・福祉用具のどのような箇所に不備がおきやすいかを理解している。</li> </ul>

#### （解説）

- ・福祉用具については、車いす、歩行器といった移動を補助するものや、つり具やリフトといった移乗を補助するものから、食事の際のふち周りが高いお皿や持ちやすいよう形状が加工されたスプーンやフォーク等様々なものがあります。さらに、読む、書く、文章を耳から聞いて理解することが難しい人のコミュニケーションを補助するためのコンピュータや絵といったものもここでは福祉用具にも含まれます。
- ・これらのものが正しく使われることで、介護が必要な人は、介護職員の支援をできるだけ受けなくても日常生活を送ることができます。このため、まず、働く環境に存在する福祉用具の種類と用途を把握することが重要です。そして、これらの福祉用具に不備がないか、日々の関わりや定期的なチェックによって確認することも重要になります。

チェック項目	確認ポイント
お知らせ等掲示物の管理等が適切にできているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの利用者にも見えやすい位置に掲示している。</li> <li>・掲示物の期限を把握している。</li> <li>・期限が過ぎた掲示物をいつまでも掲示していない。</li> <li>・掲示物が剥がれないように工夫している。</li> </ul>

(解説)

- ・ 掲示物は情報を伝えるためのものであり、車いすの利用者や視覚障害がある方にも、見えやすい位置に貼ることが大切です。また、文字を大きくしたり、イラストをいれてわかりやすくする等、情報の伝え方を工夫することも必要です。
- ・ 行事のお知らせや献立表等掲示物の多くは、掲示する期間が決まっていますので、掲示物に何が書かれているか把握し、古い情報をいつまでも掲示しないようにすることが大切です。それにより、利用者に関心をもってもらうことができます。
- ・ 掲示物を貼る際は実習実施機関のルールに従いましょう。画鋲の形によっては外れやすく、利用者が誤って踏んだり、飲み込んでしまう等の事故が生じることがあります。画鋲の場合は外れないように工夫をしたり、必要最小限にする等、対応することが必要です。
- ・ また、掲示物が汚れいていたり、破れていたりする場合は、掲示物を差し替えたり、補修する等して、常に利用者や職員が見やすいように保つことも大切です。